B6FJ-3501-01

テレビ操作ガイド

FMVの「テレビ機能」を詳しく紹介

マニュアルのご案内

『箱の中身を確認してください』

添付品の一覧です。
ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。

『取扱説明書』

この1冊で、パソコンの取り扱い方法がわかります。

- 使用上のご注意
- パソコンを使うための準備
- 取り扱い方法
- ご購入時の状態に戻す方法
- Q＆A
- 各種お問い合わせ先

『テレビ操作ガイド』（本書）

テレビの操作方法をわかりやすく説明しています。

- テレビの見かた
- ディスクへの保存のしかた
- 録画のしかた
- テレビなどに関するQ＆A

『補足情報』（インターネットで公開）

『取扱説明書』の補足情報です。
細かい設定を変更する方法などを説明しています。

● 『補足情報』を表示する手順

1 インターネットに接続した状態で （スタート）→「すべてのプログラム」→「@メニュー」→「@メニュー」の順にクリックします。

2 @メニューの「安心・サポート」-「富士通のパソコンのマニュアルを見る」を選択し、「このソフトを使う」をクリックします。

3 インターネットのマニュアル公開ページが表示されます。

この他にもお使いの機種により、マニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。

地デジを見るための準備は完了していますか？

受信環境の確認

地デジを受信できる環境かどうか確認しましたか？
まだ確認していなければ、次のチャートでチェックしてください。

スタート
現在、テレビはケーブルテレビで見ていますか？

→ 見ている

ケーブルテレビの電波の伝送方式を確認してください。
ケーブルテレビで地上デジタル放送を見る場合は、伝送方式が「**同一周波数パススルー方式**」または「**周波数変換パススルー方式**」である必要があります。
詳しくは、ケーブルテレビ会社にご確認ください。

↓ 見ていない

お住まいの住宅の種類は？

→ アパート、マンションなどの共同住宅

現在の環境で地上デジタル放送を受信できるか確認してください。
共同アンテナの種類や向きなどが、地上デジタル放送に対応しているか、大家さん、管理組合、管理会社などにご確認ください。

↓ 一戸建て

UHF放送（13～62チャンネル）を受信できていますか？

→ できている

一般的には地上デジタル放送を見られます。ただし、お使いの状況によっては、新たにUHFアンテナが必要になる場合や、アンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

↓ できていない

地上デジタル放送に対応したUHFアンテナの設置工事が必要です。
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

注：地上デジタル放送が受信できる環境でも、お使いの状況によって、次のような機器が必要になる場合があります。
・ブースター／アッテネーター／分配器／分波器／混合器
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

地上デジタル放送を見るためには

手順	参照
付属品を確認する	『箱の中身を確認してください』
↓	
リモコンの準備をする	『取扱説明書』
↓	
アンテナ線を接続する	『取扱説明書』
↓	
B-CASカードを挿入する	『取扱説明書』
↓	
初期設定を行う	本文　P.17
↓ テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要なため、初期設定の前にパソコンをインターネットに接続してください。	
見る	本文　P.22

見ることができないときは？ → P.56

■問合せ先（地デジ放送について）

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）
電話番号：0570-07-0101（IP電話等でつながらない場合は、03-4334-1111）
受付時間：平日…9時から21時　土日・祝日…9時から18時

（社）デジタル放送推進協会（略称：「Dpa／ディーピーエー」）のホームページも見てみよう！

http://www.dpa.or.jp/
デジタル放送に関する情報をご覧になれます。
・地デジとは？
・自分の住んでいるところに電波がきているのかなぁ
・未対応地域の放送開始予定など

（2009年11月現在）

目次 Contents

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面および イラストが若干異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されている ケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
●●▶	参照先を記述しています。
▼参照	参照していただきたいマニュアルを記述しています。
（冊子アイコン）	冊子のマニュアルを表しています。
Web	Webで公開している情報を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
FMV-DESKPOWER、FMV-BIBLO	FMV
FMV-DESKPOWER	DESKPOWER
FMV-BIBLO	BIBLO
Windows® 7 Home Premium	Windows
Windows® Internet Explorer® 8	Internet Explorer
Corel® WinDVD®	WinDVD
スーパーマルチドライブ、Blu-ray Discドライブ	CD／DVDドライブ

操作説明について

このマニュアルでは、リモコンで操作できる箇所はリモコンを使った説明としています。マウスで 操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。

例：

リモコンでの操作	マウスでの操作
（十字ボタン）で「確定」を選択し、（決定）を押します	「確定」をクリックします

BIBLOをお使いの方へ

- このマニュアルで「マウスで操作する」とある箇所は、フラットポイントでも操作できます。
- BIBLO NWシリーズをお使いの場合、「タッチスクエア」に放送中のテレビ番組を表示したり、「タッチスクエア」をリモコンとして使用したりできます。

▼参照 「タッチスクエア」について
『取扱説明書』

商標および著作権について

安全上のご注意

このパソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報です

本製品でテレビ、DVD、ゲームなどの映像を見たり、本製品にご家庭のテレビなどを接続したりしてご利用になる場合には、部屋を明るくして、画面から充分離れてご覧ください。
映像を視聴する方の体質によっては、強い光の刺激や点滅の繰り返しを受けることによって一時的な筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
また、このような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

お使いになるうえでのご注意

大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集を行う場合は、事前に試し録画・録音・編集をして、正しくできることをご確認ください。
- 本製品およびディスクを使用中に発生した不具合、もしくは本製品が使用不能になったことにより、録画・録音・編集されなかった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

ハードディスクについて

パソコンに内蔵されているハードディスクは非常に精密な機器です。お使いの状況によっては、部分的な破損が起きたり、最悪の場合はデータの読み書きができなくなったりするおそれもあります。ハードディスクは、録画・録音した内容を恒久的に保存する場所ではなく、一度見るためや、DVDやBlu-ray Discに保存したりするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

停電などについて

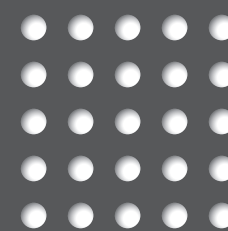
- 本製品の動作中に停電などが起こると、録画ができなかったり、内蔵ハードディスクに保存してある録画データが損なわれたりすることがあります。大切な録画データは、DVDやBlu-ray Discに保存されることをお勧めします。
- 録画中やディスクへの保存中に停電などが起こると、録画や保存に失敗したり、ハードディスクから録画データの一部、またはすべてが削除されたりする場合があります。このとき、録画データの一部、またはすべてを、再生できない場合があります。

著作権について

本製品で録画・録音したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル（有償・無償を問わず）、販売することは、法律により禁止されています。

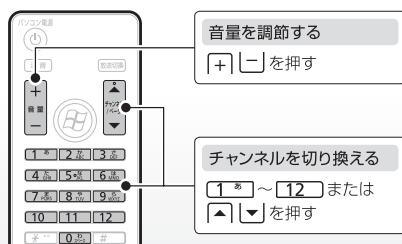
BIBLOをお使いになるときの注意

本製品でテレビ機能を使用するときは、パソコン本体にACアダプタを取り付けてください。

第1章
このパソコンでできること

このパソコンでは

こんなことができます

リモコンで簡単操作

パソコン操作が苦手でも
リモコンだけで簡単に操作できます。

テレビを見る …………………… p22

見たいシーンを逃さない タイムシフトモード

見ている番組を一時停止したり
巻き戻したりすることができます。

以降、時間がずれて（シフト）映像が表示される。

タイムシフトモードとは ………… p23

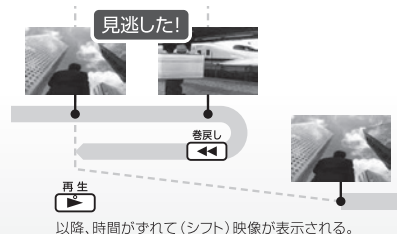
見たい番組を探す

「ジャンル」や「出演者」などの
キーワードから
見たい番組を探すことができます。

番組表を使う …………………… p28

双方向サービスで番組に参加する

番組によっては、
双方向サービスを利用して
クイズなどに参加することができます。

データ放送を見る ……………… p27

番組表から簡単予約

見やすい番組表から簡単に
目的の番組を録画予約できます。

予約録画をする ………………… p38

ディスクに録画番組を保存する

ハードディスクに録画した番組を
DVD や Blu-ray Disc に
保存することができます。

録ったテレビ番組をディスクに保存する … p44

お使いの機種をご確認ください

お使いの機種により、使える機能が異なります。操作方法や説明が異なる場合がありますので、お使いの機種で使える機能を事前にご確認ください。
ここでは、このマニュアルの説明に必要な機能についてのみ記載しています。パソコンの詳しい仕様については、『取扱説明書』をご覧ください。

表中のマークの意味

デジタル1 ：ハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放送用）
地上デジタル放送を視聴、録画できます。

Blu-ray ：Blu-ray Discドライブ
録画した番組をBlu-ray Discに保存できます。

お使いのパソコンの機種名（品名）を、梱包箱に張り付けられている保証書で確認し、次の表の☑欄に印を付けてください。

■ DESKPOWER

☑	機種名（品名）	デジタル1	Blu-ray
□	F/G70T	○	○
□	F/G70N	○	○
□	F/G67N	○	−
□	F/G50T	○	−

■ BIBLO

☑	機種名（品名）	デジタル1	Blu-ray
□	NW/G90T	○	○
□	NF/G60T	○	○
□	NF/G60NT	○	○注

注：インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」で「カスタムメイドモデル」をご購入されたときに、「Blu-ray Discドライブ」を選択した場合

Point 放送波豆知識

● **地上デジタル放送：**
2003年12月から、地上波のUHF帯を使用して開始されたデジタル放送です。詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2009年11月現在）をご覧ください。

対応している視聴／録画機能

このパソコンは、次の機能に対応しています。

対応している視聴機能

お使いの機種	機能				
	CATV パススルー	字幕放送	データ放送	双方向サービス	電子番組表（EPG）
全機種	○	○	○	○	○

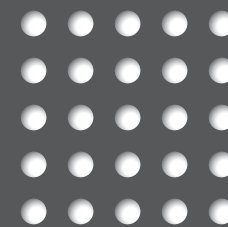
Point 用語の意味

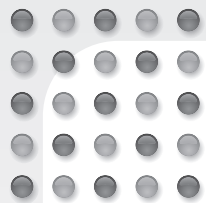
● **CATVパススルー：** ケーブルテレビ（CATV）会社が地上デジタル放送を配信するときに使用する、周波数変換パススルー方式と呼ばれるデータ伝送方式です。ご契約のケーブルテレビの伝送方式は、ケーブルテレビ会社にご確認ください。

● **データ放送：** 文字や図などで情報を提供する放送です。

● **双方向サービス：** 通信回線を利用して、データを送受信する機能です。

対応している録画機能

お使いの機種	ハードディスクへの録画	予約録画／番組表
全機種	○	○

Memo

第2章 テレビを見る

テレビを見るための準備をする

このパソコンでテレビ番組を見るためには、デジタルテレビと同様の準備が必要です。ここでは、テレビを見るための準備について説明します。※このマニュアルでは、「B-CASカード」と「miniB-CASカード」を総称して、「B-CASカード」と呼んでいます。

インターネットへの接続が必要です

テレビの初期設定、視聴および録画にはインターネットへの接続が必要です。テレビを見るための準備をする前に、インターネット接続の設定が完了しているかどうかご確認ください。インターネット接続について、詳しくは『取扱説明書』をご覧ください。

地上デジタル放送を見るための準備

1. お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内か確認する
2. アンテナケーブルを接続する／B-CAS（ビーキャス）カードをセットする
3. インターネットに接続する
4. 「Windows Media Center（ウィンドウズ メディア センター）」の初回設定をする

1 お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内か確認する

社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2009年11月現在）で、お住まいの地域が地上デジタル放送のエリア内かどうか確認することができます。

2 アンテナケーブルを接続する／B-CASカードをセットする

『取扱説明書』をご覧になり、アンテナケーブルの接続とB-CASカードのセットを行ってください。

B-CASカードについて

- デジタル放送の放送信号は暗号化されており、受信機で暗号を解除する必要があります。B-CASカードには、この暗号を解除するためのICチップが入っています。
- B-CASカードについての詳細は、カードが貼り付けられていた台紙をご覧ください。
- B-CASカードは、お客様と（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）社との直接契約に基づき使用するものです。B-CASカード使用許諾契約約款に従って管理してください。
- パソコンの修理時は、B-CASカードを取り外し、お客様の責任で保管してください。
- B-CASカードの紛失・盗難時や、破損したり汚れたりした場合は、B-CASカスタマーセンターまでお問い合わせください。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（B-CAS） カスタマーセンター
電話番号：0570-000-250［IP電話の場合 045-680-2868］
受付時間：10:00～20:00

3 インターネットに接続する

パソコンがインターネットに接続しているかどうか、確認してください。

4 「Windows Media Center」の初回設定をする

このマニュアルでは、リモコンで操作できる箇所はリモコンを使った説明としています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。

例：

リモコンでの操作	マウスでの操作
◎で「確定」を選択し、（決定）を押します	「確定」をクリックします

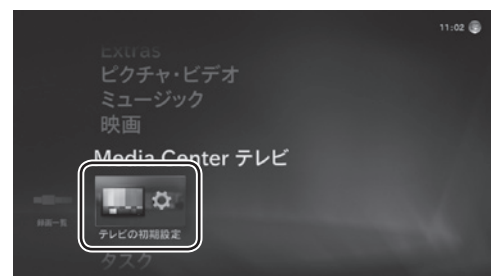
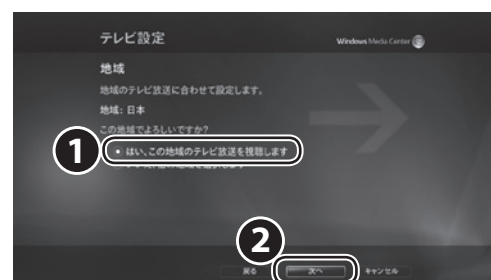
1 Windowsが起動していない場合は、（パソコン電源）を押します。

Windowsが起動します。

2 （テレビ）を押します。

マウスでの操作
- マウスを使って起動する場合は、（スタート）→「すべてのプログラム」→「Windows Media Center」の順にクリックします。

次のような画面が表示されたときは、決定を押し、手順３の画面まで進んでください。

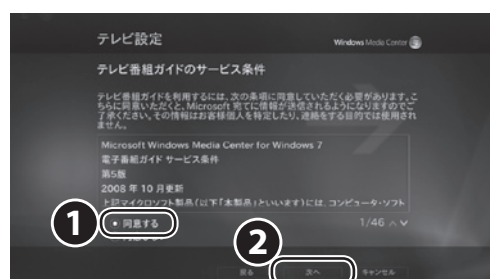
3 で「テレビの初期設定」を選択し、決定を押します。

4 「はい、この地域のテレビ放送を視聴します」を選択します。

1. 決定を押して、「はい、この地域のテレビ放送を視聴します」の ○ を ◉ にします。

2. 「次へ」が選択されていることを確認し、決定を押します。

5 お住まいの地域の郵便番号を設定します。

1. リモコンの数字ボタンで郵便番号を入力します。

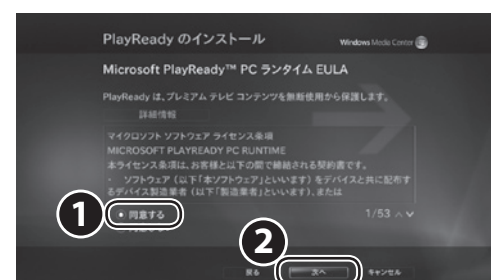
2. 「次へ」が選択されていることを確認し、決定を押します。

6 テレビ番組ガイドのサービス条件を確認します。

1. サービス条件をお読みになり、決定を押して、「同意する」の ○ を ◉ にします。

2. 「次へ」が選択されていることを確認し、決定を押します。

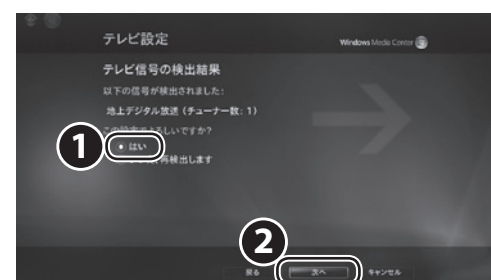
スクロールするには

サービス条件やライセンス条項を読むためにスクロールするには、を押します。

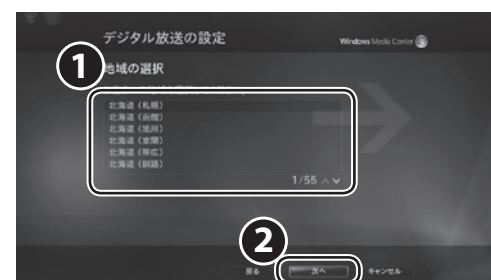
7 PlayReady のソフトウェアライセンス条項を確認します。

1. ライセンス条項をお読みになり、決定を押して、「同意する」の ○ を ◉ にします。

2. 「次へ」が選択されていることを確認し、決定を押します。

テレビ関連情報のダウンロードが始まります。しばらくお待ちください。

8 「はい」を選択します。

1. 決定を押して、「はい」の ○ を ◉ にします。

2. 「次へ」が選択されていることを確認し、決定を押します。

9 お住まいの地域を選択します。

1. で最寄りの地域を選択し、決定を押します。

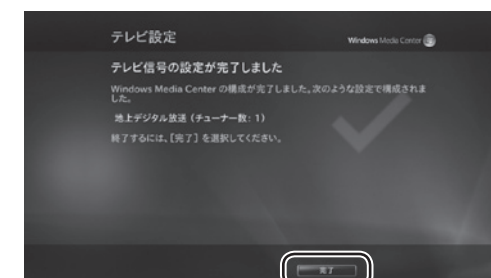
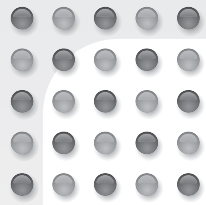
2. 「次へ」が選択されていることを確認し、決定を押します。

10 「次へ」を選択し、決定を押します。

チャンネルの検出が始まります。
しばらくお待ちください。

11 「次へ」を選択し、決定を押します。

チャンネルが正常に検出できない場合は、「地上デジタル放送が映らない」（P.56）をご覧ください。

12 「完了」を選択し、決定を押します。

これで初回設定は完了です。

テレビを見るときの注意

ここでは、「Windows Media Center」のテレビ機能をお使いになるときに注意していただきたいことを説明します。

電波の受信状態について

- 画像および音声の品質は、アンテナの電波受信状況により大きく左右されます。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が弱い場合や、室内アンテナをご利用の場合などは、受信状態が悪く、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをお使いになる場合は、アンテナブースターのマニュアルをご覧ください。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が強すぎる場合は、受信レベルが飽和し、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアッテネーターをご購入ください。アッテネーターをお使いになる場合は、アッテネーターのマニュアルをご覧ください。

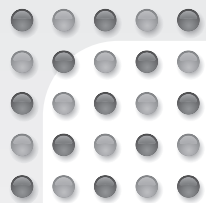
テレビの視聴や録画、再生などに関する注意

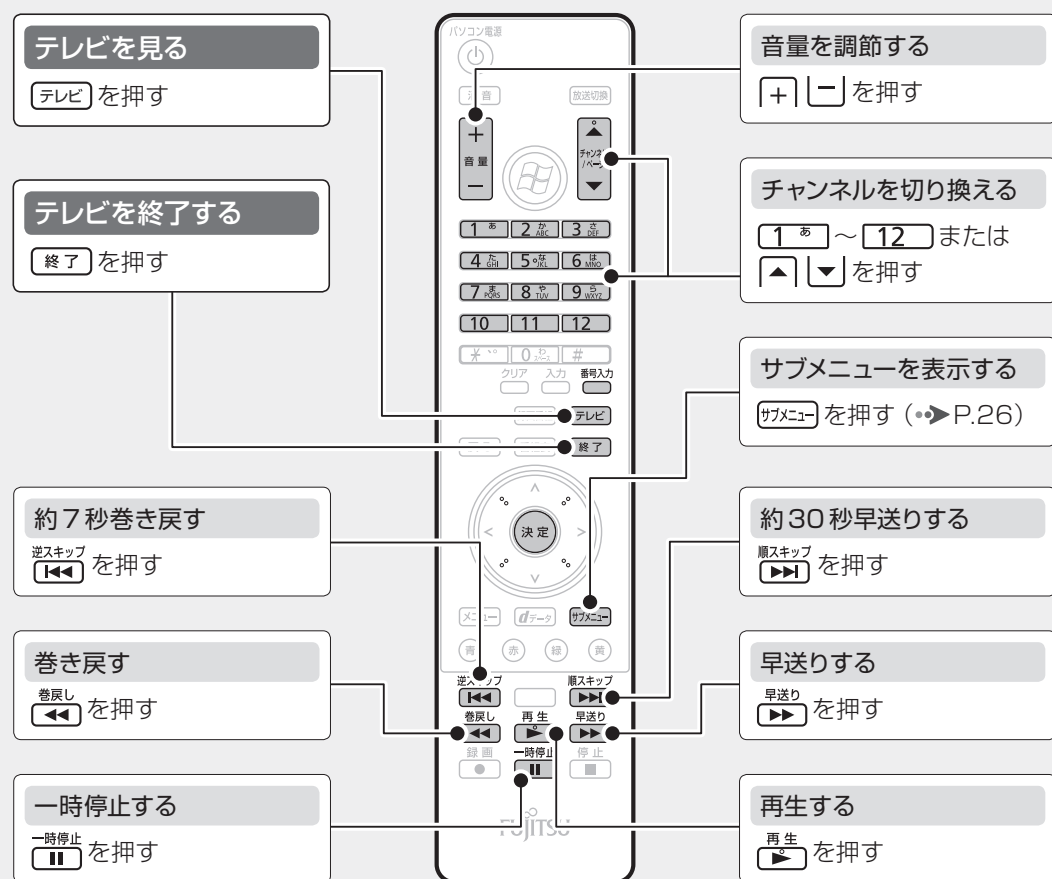
- テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、常にパソコンをインターネットに接続してください。
- 「Windows Media Center」は、他のソフトウェアと同時に使ったり、使用中にスクリーンセーバーを動作させたりしないでください。
  「Windows Media Center」をお使いのときに、「Windows Media Player(ウィンドウズメディアプレーヤー)」など他のソフトウェアやスクリーンセーバーが動作していると、音声が途切れる、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- テレビの視聴をしているときに、使用状況やシーンによっては、映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 字幕対応番組を視聴中に「消音」にすると、自動的に字幕が表示されます。
- 録画中に別番組を視聴することはできません。
- デジタル放送の5.1チャンネル音声は、次の場合に2チャンネルのステレオ音声に変換(ダウンミックス)されます。
  - パソコン本体のスピーカーから出力する場合
  - BIBLOとデジタルテレビをHDMIケーブルで接続し、デジタルテレビのスピーカーから出力する場合
- 電源プランの設定は「省電力」にしないでください。映像がコマ落ちすることがあります。

その他の注意

- 画面の設定を変更しないでください。
  「Windows Media Center」の使用中に、画面の各種設定を変更しないでください。
  また、画面の解像度と発色数は、ご購入時の状態から変更せずにお使いください。ご購入時の設定から変更している場合は、デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューの「画面の解像度」をクリックして、設定しなおしてください。
  ご購入時の設定については、次のマニュアルで「仕様一覧」を確認してください。

参照 **画面の解像度／発色数**
『取扱説明書』

- 定期的にデフラグを実行してください。
  ハードディスクへの録画を頻繁に行うと、ハードディスク内のファイルが断片化され、ハードディスクへの読み書き速度が低下します。定期的なデフラグの実行をお勧めします。

テレビを見る

ここでは、テレビの起動／終了方法と、基本的なテレビの操作を説明します。
通常のテレビと同様に、リモコンで操作することができます。

タイムシフトモードとは

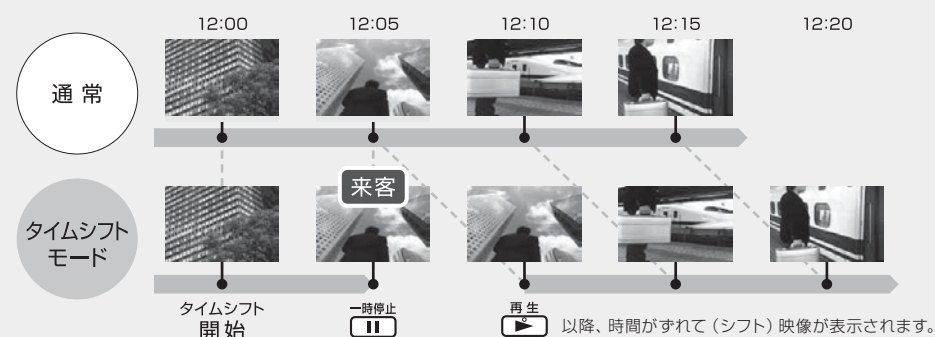
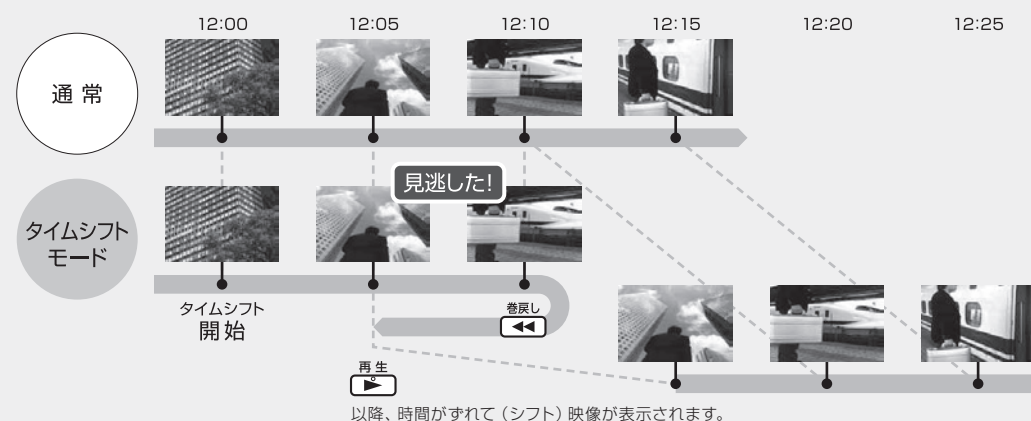
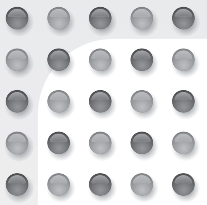
このパソコンは、放送中の映像を一時的に録画しながら表示する「タイムシフトモード」になっています。録画したデータを見ているので、録画番組を見ているときのように一時停止したり、巻き戻したりしてみることができます。

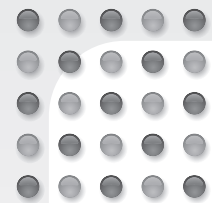
タイムシフトモードに関する注意

●チャンネルを切り替える前の映像を戻して見ることはできません。
●タイムシフト時間（現時点からさかのぼれる時間）は、最長40分です。

リモコンで操作する

タイムシフトモードの例

■一時停止・再開

■巻き戻し

操作パネルを使う

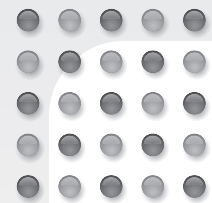
操作パネルは、マウスを動かすと表示されます。

字幕などの設定を変更する（サブメニュー）

サブメニューを使うと、簡単に字幕の切り換えなどを行うことができます。

■サブメニューでできること

番組情報	番組の情報を見ることができます。	
詳細	操作	録画などができます。
	その他の放送予定	再放送の予定などを見ることができます。
拡大／縮小	拡大／縮小1	標準の設定です。画面の大きさに合わせるための拡大を行いません。
	拡大／縮小2	画面の横いっぱいに拡大します。
	拡大／縮小3	画面の縦いっぱいに拡大します。
	拡大／縮小4	縦横比を維持したまま拡大します。
字幕	字幕の設定を変更することができます。	
データ放送	データ放送の操作をすることができます。詳しくは、次のページをご覧ください。	

サブメニューの使い方

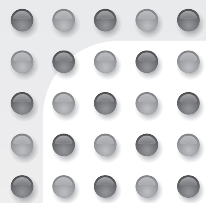
1. テレビ画面が表示されている状態で、サブメニュー を押します。
2. ◇で設定したい項目を選択、設定の変更を行います。
3. もう一度、サブメニュー を押すと、サブメニューが終了します。

データ放送を見る

データ放送とは ――― 番組の情報や、地域の天気予報や交通情報、最新のニュースなどの情報を見ることのできるサービスです。番組によっては、インターネットなどの回線を利用して、クイズに答えるなど、番組に参加することができます。

・双方向サービスの利用には、インターネット接続が必要です。パソコンがインターネットに接続しているかどうか、確認してください。

データ放送の見方

データ放送の画面内では、リモコンを使って操作します。
マウスで操作をするときは、操作パネル（→P.24）を使用してください。

1. テレビ画面が表示されている状態で、dデータ を押します。
2. ◇、決定、青、赤、緑、黄 などのボタンで操作します。
3. もう一度 dデータ を押すと、データ放送が終了します。

番組表を使う

このパソコンには、放送波からテレビ番組の情報を取得し、表示するための電子番組表が用意されています。

番組表を使うと、次のことができます。

●番組表を見る
●番組を探す
●番組表で録画予約する（予約録画の方法については、「予約録画をする」（P.38）をご覧ください。）

・番組データは自動的に受信されますが、受信に時間がかかる場合があります。
・番組表には、取得できたチャンネルの番組のみ表示されます。
・番組表には、過去７日以内に選局したことがあるチャンネルの番組が表示されます。「番組データがありません」というメッセージが表示された場合は、いったん番組表に表示したいチャンネルを視聴した後、番組表を表示してください。

番組表の操作

■マウスを使って番組表を表示する

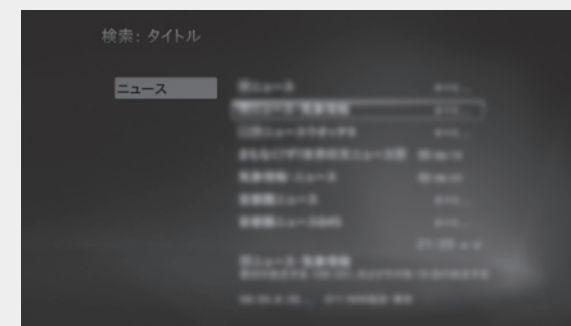
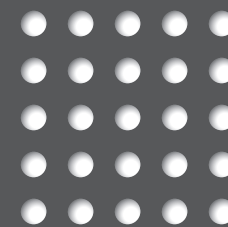
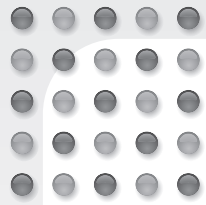
マウスを使って番組表を表示するときは、操作パネル（P.24）を使って操作します。

を１回クリック	画面下部に番組表が表示されます。
を２回クリック	全画面で番組表が表示されます。
を３回クリック	番組表を終了します。

番組を探す

ジャンルや出演者などから見たい番組を探すことができます。

1. を押します。
2. で「Media Center テレビ」→「番組検索」を選択し、決定を押します。
3. で何をキーに検索するかを選択し、決定を押します。
4. や文字ボタンで番組を探します。
5. 予約を行う場合は、予約したい番組を選択し、録画ボタンを押します。予約についての詳細は、「予約録画をする」（P.38）をご覧ください。

Memo

第3章
テレビを録る

テレビを録画するときの注意

ここでは、テレビを録画するときに注意していただきたいことを説明します。

録画全般について

●テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、常にパソコンをインターネットに接続してください。

BIBLOのバッテリ残量に関する注意

● BIBLOをお使いの場合、パソコン本体にACアダプタを取り付けてください。
バッテリ残量が約10%以下になると、パソコン本体が自動的に休止状態になるため、録画が失敗する原因となります。

視聴中の別番組録画について

●テレビの視聴中は、別の番組を録画することができません。視聴している番組のみ、録画することができます。

シャットダウン、再起動、スリープや休止状態に関する注意

●録画中に、シャットダウンや再起動をしたり、スリープや休止状態にしたりしないでください。
録画が失敗する原因となります。
●スリープになるまでの時間を変更しないでください。
予約録画をするときは、コンピューターがスリープになるまでの時間をご購入時の設定から変更しないでください。ご購入時の設定から変更している場合は、（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「電源オプション」の順にクリックし、ウィンドウ左の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックして表示される画面で、設定を元に戻してください。
変更した場合、予約録画に失敗することがありますのでご注意ください。

参照 スリープ／休止状態の設定の変更
Web『補足情報』

ウイルススキャンに関する注意

●録画中は、ウイルススキャンを行わないでください。
テレビの録画中にウイルススキャンが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。
予約録画を行う場合は、同じ時間帯に自動スキャン機能が動作しないようご注意ください。

参照 セキュリティ対策ソフトの設定
『取扱説明書』

周辺機器やメモリーカードの取り扱いについて

●テレビ番組の録画中、または予約録画の待機中のときは、周辺機器の取り付け／取り外しや、メモリーカードの抜き差しなどをしないでください。
録画に失敗する原因となります。

録画したデジタル放送番組に関する注意

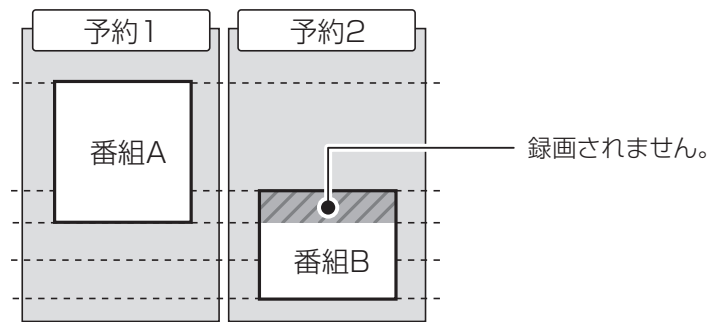
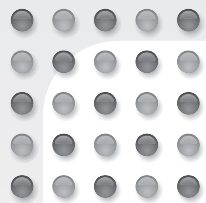
●ハードディスクにある録画データは、他のパソコンなどにコピーまたは移動して再生できません。
録画したパソコンでのみ再生可能です。
●移動（ムーブ）（P.46）を実行した録画番組は、バックアップしておいたファイルを元の場所に戻しても、再生することはできません。
● HDMI接続で他のディスプレイに表示した場合は、ディスプレイの仕様によってはハイビジョン表示にならないことがあります。
●このパソコンで録画すると、パソコンとテレビチューナー固有のIDを使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●ご購入時の設定では、ハードディスクの空き容量が少なくなると、古い録画日時の番組から順次自動的に削除されます。
この設定は、「録画の既定値」の「保存」で変更することができます。変更方法は、「録画の設定をする」（P.36）をご覧ください。

予約録画について

予約録画開始前の注意

● B-CASカードがパソコン本体にセットされていることを確認してください。
B-CASカードがセットされていないと、予約録画できません。
●アンテナケーブルを取り外したままにしないでください。
予約録画が失敗する原因となります。
予約録画を設定した後に、アンテナケーブルを取り外してパソコン本体をお使いになった場合、予約録画開始前にはパソコン本体にアンテナケーブルを接続してください。
●予約録画をする場合は、パソコンの電源を切らないでください。
パソコンの電源が入っていないと、予約録画ができません。
予約録画の設定後、パソコンを使用しないときは、スリープか休止状態にしてください。
● BIBLOをお使いの場合、液晶ディスプレイを閉じて予約録画をしないでください。
放熱が妨げられるため、故障の原因となります。
● BIBLOをお使いの場合、電源プラグがコンセントに接続されていないと、予約録画中にバッテリがなくなり、予約録画が中断されることがあります。パソコン本体にACアダプタを接続し、ACケーブルの電源プラグをコンセントに接続してください。

予約録画が重複した場合

● 録画予約が重なっている場合、開始時刻が早い方の録画が優先され、遅い方は重複する時間帯が録画されません。
詳しくは、マイクロソフト株式会社のWebページをご参照ください。
http://support.microsoft.com/kb/967652/ja/

見ている番組を録画する

現在見ているテレビ番組を録画する方法を説明します。
まずは、録画を開始する前に必要に応じて録画についての設定を行ってください。

■録画全般についての既定値（設定項目）

保存	保存する期間を選択します。
録画開始	予約の何分前から録画を開始するかを選択します。
録画終了	予約の何分後まで録画するかを選択します。
優先する音声の言語	録画する音声を選択します。

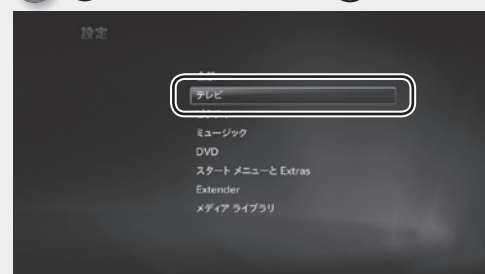
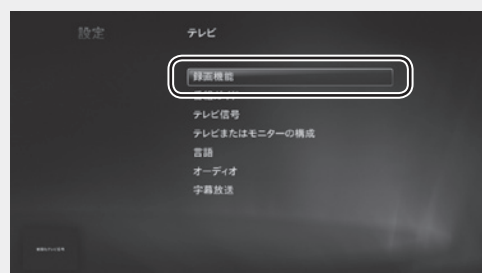
■シリーズ録画のみの既定値（設定項目）

番組の種類	再放送の番組を録画するかなどを選択します。
チャンネル	複数のチャンネルで放送されている番組について、他のチャンネルでの放送も録画するかを選択します。
放送時刻	特定の時間帯のみ録画するか選択します。
保存する回数	そのシリーズの番組を保存する数を選択します。

録画の設定をする

1 を押します。

2 で「タスク」→「設定」を選択し、を押します。

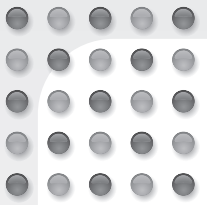
3 で「テレビ」を選択し、を押します。

4 で「録画機能」を選択し、を押します。

5 で「録画の既定値」を選択し、を押します。

6 で設定したい項目を選択して を押し、お好みで設定を変更します。

7 設定が終わったら、で「保存」を選択し、を押します

見ている番組を録画する

1 録画したいチャンネルに切り換えます。

2 録画を始める場合は、録画を押します。
もう一度押すと、シリーズ録画になります。
さらにもう一度押すと、録画を停止します。

予約録画をする

予約録画の方法を説明します。なお、予約録画を行う前に、必要に応じて録画についての設定を変更してください（••▶P.36）。

放送番組の種別	1時間分の録画データを保存するためのハードディスク容量
ハイビジョン（HD）放送	約7650MB（約7.6GB）
標準（SD）放送	約3600MB（約3.6GB）

パソコンの時刻合わせ

パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。
時刻を合わせるときは、（スタート）→「コントロールパネル」→「時計、言語、および地域」→「日付と時刻の設定」の順にクリックします。設定方法について、詳しくは「日付と時刻」の画面で「時計とタイムゾーンの設定方法」をクリックし、表示される説明をご覧ください。

シリーズ録画について

シリーズ録画をすると、毎週放送される番組などを一度に予約することができます。ただし、番組のジャンルに「映画」が入っている場合、シリーズ録画はできません。

番組表で予約する

■録画の既定値で録画する場合

1. 番組表 を押します。
2. で予約したい番組を選択し、録画 を押します。
もう一度 録画 を押すと、シリーズ録画になります。

番組の検索方法など、番組表の使い方については、「番組表を使う」（••▶P.28）をご覧ください。

■設定を変更して録画する場合

1. 番組表 を押します。
2. で予約したい番組を選択し、決定 を押します。
3. を押します。
4. で「録画の詳細設定」を選択し、決定 を押します。

5. 各種設定を変更した後、「録画」を選択し、決定 を押します。

■録画予約を変更する

1. 番組表 を押します。
2. で （シリーズ録画の場合は ）がついている番組を選択し、決定 を押します。
3. を押します。

4. 変更したい項目を選択し、設定を変更します。

■録画予約を取り消す

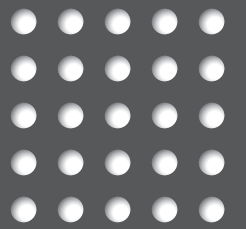
1. 番組表 を押します。
2. で （シリーズ録画の場合は ）がついている番組を選択し、決定 を押します。
3. を押します。

4. で「録画しない」または「シリーズ録画の取り消し」を選択し、決定 を押します。

3 テレビを録る

Memo

第4章

録ったテレビ番組を再生する／保存する

ハードディスクに録った テレビ番組を再生する

ここでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を再生する操作について説明しています。

録画した番組を再生するときの注意

- このパソコンで録画すると、パソコンとテレビチューナー固有のID を使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
  万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ネットワークを経由し、他の機器で再生することはできません。

ハードディスクに録ったテレビ番組の再生

1. 録画番組 を押します。
2. ◎で見たい番組を選択し、決定を押します。
3. ◎で「再生」を選択し、決定を押します。
   番組の再生が始まります。再生中の操作については、「リモコンで操作する」（P.22）をご覧ください。
4. 番組の再生を終える場合は、停止 を押します。
   再生した番組の概要画面に戻ります。

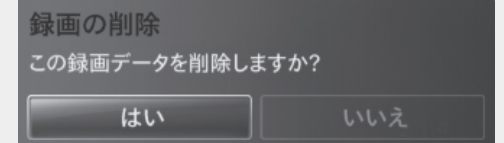
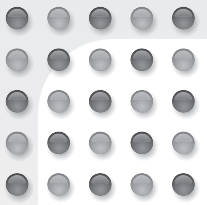
録ったテレビ番組を削除する

ここでは、ハードディスク内の録画番組を削除する操作について説明します。

録画番組を削除すると、元に戻すことはできません。録画番組を保存したい場合は、「録ったテレビ番組をディスクに保存する」（P.44）をご覧になり、ディスクに保存してください。

録った番組の削除

1. 録画番組 を押します。
   録画したテレビ番組の一覧が表示されます。
2. ◎で削除したい録画番組を選択し、決定を押します。

3. ◎で「削除」を選択し、決定を押します。
4. ◎で「はい」を選択し、決定を押します。
   テレビ番組が削除されます。

録ったテレビ番組をディスクに保存する

ハードディスクに録画したテレビ番組は、「Windows Media Center」を使ってディスクに保存できます。ここでは、録画番組をディスクに保存する操作について説明しています。

インターネットに接続してください

・ディスクに保存するには、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、常にパソコンをインターネットに接続してください。

AACSキーを更新してお使いください（Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ）

・Blu-ray Discへ録画データを保存する場合は、AACS（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって、データが暗号化されます。暗号化されるときには、「AACS キー」という電子データが働きます。AACSキーはこのパソコンに入っています。通常、AACS キーには有効期限が設けられているため、このパソコンのAACSキーも定期的に更新する必要があります。AACSキーを更新するには、インターネットに接続する必要があります。更新方法については、次のURLをご覧ください。

http://www.fmworld.net/aacs/deskpower/（DESKPOWERの場合）
http://www.fmworld.net/aacs/biblo/（BIBLOの場合）

対応するディスク

対応するディスクには、DVDとBlu-ray Discがあります。Blu-ray Discは、Blu-ray Discドライブを搭載した機種（P.12）で使用できます。

DVD※

DVD-R　DVD-R DL　DVD-RW　DVD-RAM

※CPRM（Content Protection for Recordable Media）対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに保存できます。

- DVD-R、DVD-R DLは、1回のみデータを書き込めます。書き込んだデータの削除や書き換えはできません。また、録画データを保存したDVD-R、DVD-R DLに、データは追記できません。
- DVD-RW、DVD-RAMは、書き込んだデータの削除や書き換えが可能です。データが不要になったら削除して、別のデータの保存に使えます。
- CPRM対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに保存したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM対応のDVDに対応したプレーヤーで再生できます。
  なお、CPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、このパソコンの故障ではありません。
- DVD-RAMは、カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをご購入ください。
  カートリッジに入れた状態で使用するタイプ（Type1）は使用できません。また、カートリッジからディスクを無理に取り出して使わないでください。

Blu-ray Disc

BD-R　BD-R DL　BD-RE　BD-RE DL

- 大容量のデータ保存が可能です。
  地上デジタル放送やハイビジョン（HD）放送などの保存に適しています。
- BD-R、BD-R DLは、1回のみデータを書き込めます。書き込んだデータの削除や書き換えはできません。
- BD-RE、BD-RE DLは、書き込んだデータの削除や書き換えが可能です。
  データが不要になったら削除して、別のデータの保存に使えます。
- Blu-ray Discに保存したテレビ番組は、「WinDVD」で再生できます。
- このパソコンは、BD-RE Ver1.0に対応していません。
- BD-R LTH Type（記録層に有機色素材料が使用されているBD-R）に対応しています。

このパソコンの推奨ディスクについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照　**推奨ディスクについて**
『取扱説明書』

作成されるディスクの状態

録画データをディスクに保存すると、次の状態でディスクが作成されます。

＊：ディスクに保存したときに、ハードディスク上の録画データから変換や削除される項目

	DVD	Blu-ray
フォーマット形式	DVD-VR	BDAV2.0
画質 注1	標準（SD）に変換＊	ハイビジョン（HD）
データ放送のデータ 注2	削除＊	削除＊
番組情報のデータ 注2	削除＊	削除＊
字幕放送のデータ 注2	削除＊	削除＊
副音声	音声1のみ保存＊	保存 注3
5.1チャンネルの音声	2チャンネルに変換＊	保存

注1：ハイビジョン（HD）放送の録画データの場合です。
注2：ディスク上に、データ放送、番組情報のデータが保存されていても、「WinDVD」では表示されません。
注3：副音声には、番組によって2種類の形式があります。
　二重音声放送（主・副音声のみ）の番組の場合、すべての音声が保存されます。
　マルチ音声放送（3つ以上の音声を含むことが可能）の番組の場合、音声1のみ保存されます。

記録時間の目安

１枚のディスクに、何時間分の録画データを記録できるかを、ディスクの種類ごとに説明します。

DVD

DVDに保存する場合、保存操作中に「高画質（XP）」「標準画質（SP）」「長時間（LP）」の３つの記録モードを選択できます。記録モードごとの記録時間の目安は、次のとおりです。

記録モード	DVD-R／DVD-RW／DVD-RAM 注1（約4.7GB）	DVD-R DL（約8.5GB）
高画質（XP）	約１時間	約２時間
標準画質（SP）	約２時間	約3.5時間
長時間（LP）	約４時間	約7.5時間

注１：DVD-RAMの片面ディスクです。

Blu-ray Disc

放送番組の種別		BD-R/BD-RE（約25GB）	BD-R DL/BD-RE DL（約50GB）
地上デジタル放送	ハイビジョン（HD）放送	約３時間	約６時間
	標準（SD）放送	約4.5時間	約９時間

ダビング／移動（ムーブ）について

このパソコンでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を、ディスクに保存できます。ディスクに保存する方法は、ダビングと移動（ムーブ）の2つがあります。

ダビングとは

パソコンのハードディスクに録画番組を**残したまま**、DVDまたはBlu-ray Discにデータをコピー（バックアップ）する機能です。

移動（ムーブ）とは

ハードディスクの録画番組を、DVDまたはBlu-ray Discに保存する機能です。
「移動（ムーブ）」の名のとおり、録画した番組のデータをDVDまたはBlu-ray Discに保存した後は、ハードディスクから**データが削除**されます。

■ダビング／移動（ムーブ）の特徴

- 録画番組をCPRM対応ディスクに保存できます。
- DVDに保存したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM 対応のDVDに対応したDVDプレーヤーで再生できます。
なお、CPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、このパソコンの故障ではありません。
- Blu-ray Disc に保存したテレビ番組は、「WinDVD」またはBlu-ray Discに対応したプレーヤーで再生できます。

ダビング／移動（ムーブ）をするときの注意事項

- **ダビング／移動（ムーブ）中は一切他の操作をしないでください。**
- 他のソフトウェアは終了させてください。
- ダビング／移動（ムーブ）中は、番組の視聴、録画はできません。
- 大切な録画データをディスクに保存する前に、テスト用の録画データでディスクに保存し、お手持ちの機器で再生可能かご確認ください。
- 録画データを保存するディスクにデータが入っていた場合、フォーマットを行うとすべてのデータが削除されます。データを削除したくない場合は、新しいディスクを用意してください。
- ディスクの作成時間は録画番組の再生時間よりも長くなる場合があります。
- 「Windows Media Center」で録画データをDVD-RAMに追記する場合、録画データのみが入っているときは、追記できます。録画番組以外のデータが入っているときは、追記できません。
- 移動（ムーブ）中に、強制シャットダウンや、停電による電源断など不慮の事故により、パソコン本体が停止したり、記録しているディスクの傷や汚れにより、書き込みが中断したりした場合、移動（ムーブ）を実行した録画番組はハードディスクから一部、またはすべてが削除される場合があります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを、再生できない場合があります。
- 移動（ムーブ）の途中で失敗、キャンセルした場合、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、それ以降のデータはハードディスクから削除されます。「ダビング10」に対応した番組をダビングの途中で失敗、キャンセルした場合は、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、ダビング可能回数が１回減ります。
- ダビングの正確な書き込み回数はマイクロソフト社のサーバーで管理されています。録画番組一覧に表示される、残りの書き込み回数表示はあくまで目安です。
- 番組の視聴中、または録画番組の再生中には、ダビング／移動（ムーブ）は行わないでください。それまで視聴または再生していた番組の音声だけが再生され、映像は再生されません。音声の再生を止める場合は、停止（■）を押してください。
- 『取扱説明書』にも、ディスクに書き込みをするときに注意していただきたいことを説明しています。あわせてご覧ください。

コピー制御信号の種類

デジタル放送の番組には、著作権保護を目的とした、コピー回数を制御するための信号が含まれています。この信号には、「コピーネバー」「コピーフリー」「コピーワンス」「ダビング10」の４種類があります。

- **コピーネバー** ——— ハードディスクへの録画、およびディスクへの保存ができない信号です。
- **コピーフリー** ——— ハードディスクへ録画した後、その録画データをディスクに何回でも保存できる信号です。
- **コピーワンス** ——— ハードディスクに録画を行った時点で、１回コピーを行ったとみなされる信号です。そのため、DVDなどのディスクに録画番組を保存したい場合は、ハードディスク内に録画番組を残したままにはできず、移動（ムーブ）することになります。移動（ムーブ）を行うと、ハードディスク内の録画データは自動的に削除されます。
- **ダビング10** ——— ハードディスク内に録画番組を残したまま、最大９枚のディスクへの保存ができ、最後に移動（ムーブ）を行える信号です。最後の移動（ムーブ）を行うと、ハードディスク内の録画データは自動的に削除されます。移動（ムーブ）によるディスク作成も含めて、最大10枚のディスクを作成できるため、「ダビング10」と呼ばれます。

ダビング／移動（ムーブ）する

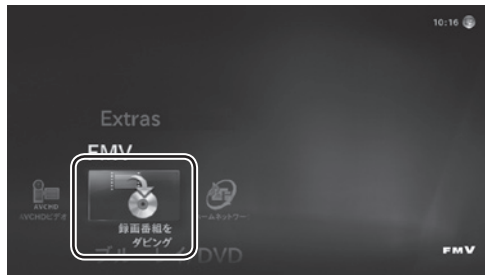
このパソコンでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を、ディスクに保存できます。ディスクに保存する方法は、ダビングと移動（ムーブ）の2つがあります。

作業の前に、パソコンが
インターネットに接続されているかどうか
確認してください。

インターネットに接続されていないと、書き込みが正常に行われません。

1 ディスクをパソコン本体にセットします。

2 (スタート) を押します。

3 (方向ボタン) で「FMV」→「録画番組をダビング」を選択し、(決定) を押します。

次のような画面が出た場合は

初めてダビング／移動（ムーブ）する場合は、次のような画面が表示されます。画面が表示されたら、内容を確認し、「OK」が選択されていることを確認して、(決定) を押します。

End User Notices

(C)2009 Corel Corporation. All Rights Reserved.
本製品には、Microsoft PlayReady(TM)テクノロジーが含まれます。以下をご参照ください。

コンテンツの所有者は、その知的所有権（著作権で保護されたコンテンツを含む）の保護のために、Microsoft PlayReady(TM)コンテンツアクセステクノロジーを使用しています。本ソフトウェアは、PlayReadyにより保護されたコンテンツへアクセスするために、PlayReadyテクノロジーを使用しています。本ソフトウェアがコンテンツの使用について適切な制限を課すことができない場合、コンテンツ所有者は、マイクロソフトに対して、本ソフトウェアがPlayReadyにより保護されたコンテンツを利用する機能を無効にするように要求することができます。機能の無効化は、保護されていないコンテンツや他のコンテンツアクセステクノロジーにより保護されたコンテンツには影響しません。コンテンツ所有者は、コンテンツへアクセスするためにPlayReadyをアップグレードすることをあなたに要求することができます。もしあなたがアップグレードを拒否する場合、あなたは当該アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスができなくなります。

OK

4 録画した番組の一覧から、(方向ボタン) でディスクに保存したい番組を選択し、(決定) を押します。

(方向ボタン) で「タイトル」か「録画日時」を選択し、(決定) を押すと、録画番組を並べ変えることができます。

録画データが表示されないときは

ご購入時の状態では、テレビ番組の録画データは次のフォルダーに保存されます。他のフォルダーにある録画データは、録画一覧に表示されません。
-D:Recorded TV
次の手順で録画番組を保存したフォルダーを参照すると、録画番組が表示されるようになります（マウスまたはフラットポイントを使って操作してください）。

1. 画面の何もないところを右クリックして表示される「フォルダー選択」をクリックします。
2. 録画データを保存したフォルダーをポイントします。（フォルダーは「ユーザー」→「User」／「パブリック」→「Public」／「録画一覧」→「Recorded TV」のように名称が置き換わります。）
3. 「選択」をクリックします。

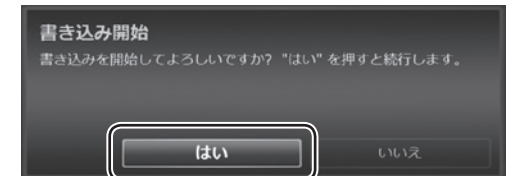
5 書き込みをするディスクの種類（フォーマット）を選択します。

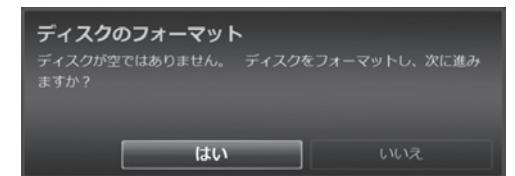
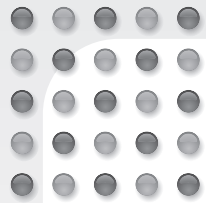
1. (方向ボタン) でディスクの種類を選択します。
2. (決定) を押し、○ を ◉ にします。
3. 「次へ」が選択されていることを確認し、(決定) を押します。

※画面はお使いの機種により異なります。

6 書き込みをするディスクが入っているドライブを選択します。

1. (方向ボタン) でドライブを選択します。
2. (決定) を押し、○ を ◉ にします。
3. 「次へ」が選択されていることを確認し、(決定) を押します。

7 (方向ボタン) で「はい」を選択し、(決定) を押します。

8 ディスクにすでに録画データが入っているとき、ディスクをフォーマット（初期化）する場合は (方向ボタン) で「はい」を選択し、(決定) を押します。

使用ディスクがDVD-R、DVD-R DL、BD-R、BD-R DLの場合は表示されません。

データを追記したい場合は (方向ボタン) で「いいえ」を選択し、(決定) を押します。

ディスクに保存したテレビ番組を再生する

ここでは、ディスクに保存したテレビ番組を再生する操作について説明します。
ディスクに保存したテレビ番組を再生するには、添付のソフトウェア「WinDVD」が必要です。
「WinDVD」については、「WinDVD」の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

ディスクを再生するときの注意

- 保存したテレビ番組に、データ放送、番組情報のデータが含まれていても、「WinDVD」では表示されません。
- 動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
  お使いになるディスクのタイトルによっては、動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
- ディスクを再生する前に、他のソフトウェアを終了させてください。また、再生中は他のソフトウェアの起動や他の操作は行わないでください。パソコンのCPU やハードディスクに負荷がかかるため、ディスクが正しく再生されない原因となります。
- ディスクの再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。
- 「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。
  このパソコンには、ディスクを再生するソフトウェア「WinDVD」が用意されています。より快適にディスクを視聴するために、「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。「WinDVD」を更新するには、「アップデートナビ」を実行してください。「アップデートナビ」の実行方法については、次のマニュアルをご覧ください。

参照 **「アップデートナビ」の実行方法**
『取扱説明書』

- 「Windows Media Center」で録画している間は、ディスクを再生しないでください。
  ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- ディスクの再生は、予約録画が設定されていない時間帯に行ってください。
  ディスクの再生中にテレビ番組の予約録画が開始されると、ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- このパソコンのAACSキーを更新してお使いください(Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ)。
  Blu-ray Disc内の録画データは、AACS(Advanced Access Content System)と呼ばれる著作権保護技術によって暗号化されています。暗号化されたデータを再生するときには、「AACSキー」という電子データが働きます。AACSキーはこのパソコンに入っています。AACSキーは15〜18ヶ月ごとに更新されますが、著作権保護の状況によっては不定期に更新される場合もあります。更新されたAACSキーが設定されているディスクを再生するためには、このパソコンのAACSキーも更新する必要があります。AACSキーを更新するには、インターネットに接続する必要があります。更新方法については、次のURLをご覧ください。
  http://www.fmworld.net/aacs/deskpower/(DESKPOWERの場合)
  http://www.fmworld.net/aacs/biblo/(BIBLOの場合)

ディスクに保存したテレビ番組の再生

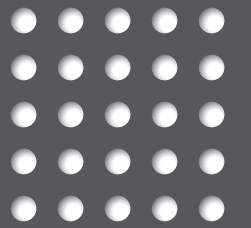
1. ディスクをパソコン本体にセットします。
   「自動再生」ウィンドウが表示されます。
2. 「***ビデオの再生 - Corel WinDVD 使用」をクリックします。
   「***」には、DVD の場合は「DVD」が、Blu-ray Disc の場合は「BDDVD」が表示されます。
   ディスクの再生が始まります。

Point 「マイフォト」の画面が表示されたら

ディスクをセットすると「マイフォト」が起動することがあります。この場合は、「マイフォト」の画面で「閉じる」をクリックし、画面を閉じます。
(スタート)→「すべてのプログラム」→「Corel」→「Corel WinDVD」をクリックすると「WinDVD」が起動し、ディスクの再生が始まります。

Memo

第5章

困ったときのQ&A

画面がおかしい

ここでは、画面の表示や映像の状態に関するQ&Aをまとめています。

点灯したままの点や黒い点が表示される

液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。有効ドット数[注]の割合は99.99%以上です。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

注：有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイが表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。

画面が表示されない

電源ランプが消灯している場合、次のような原因が考えられます。
ご確認ください。

原因	対処
ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 参照 **ACケーブル、またはACアダプタの接続方法** 『取扱説明書』
電源が入っていない	電源を入れてください。 参照 **電源の入れ方** 『取扱説明書』
「おやすみディスプレイ」機能を使用している（DESKPOWER Fシリーズをお使いの方）	キーボードのキーを押して、画面が表示されるかどうか確認してください。 画面オフボタンを押した状態になっている場合は、もう一度画面オフボタンを押すと画面が表示されます。
画面オフボタンを押した状態にしている（DESKPOWER Fシリーズをお使いの方）	
「電源オプション」の電源プランに従ってディスプレイの電源が切れている	キーボードのキーを押して、画面が表示されるかどうか確認してください。

DVDが再生できない、DVDの画像が乱れる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	対処
ディスクが裏返しになっている	ディスクの表裏を確認してください。
ディスクが汚れている	ディスクのデータ面を柔らかい布できれいに拭いてください。
ディスクに傷がある ディスクが反っている	傷ついたディスク、反ったディスクは使用できません。他のディスクをお使いください。
ファイナライズされていない	書き込みに使う機器やソフトウェアの種類によって、互換性に違いがあります。VRフォーマットで記録されたDVDディスクは、このパソコンでは再生できない場合があります。 VRフォーマットで記録されたDVDディスクが再生できない場合は、ディスクの「ファイナライズ」を行うことで、再生できるようになる場合があります。ファイナライズの方法については、書き込みに使用した機器やソフトウェアのマニュアルなどをご確認ください。

Blu-ray Discが再生できない

Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ（→P.12）

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	対処
「WinDVD」以外のソフトウェアで再生しようとした	Blu-ray Discを再生する場合は、「WinDVD」でご覧ください。

地上デジタル放送が映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　　因	対　　処
アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。 参照 アンテナケーブルの接続方法 『取扱説明書』
お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアではない	お住まいの地域に地上デジタル放送が開局していない場合は、地上デジタル放送が映りません。 地上デジタル放送の放送エリアを確認するには、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2009年11月現在）をご覧ください。 なお、サービスエリア内であっても、地形やビルなどによって電波がさえぎられる場合や電波が弱い場合などの理由により、視聴できないことがあります。
地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していない	地上デジタル放送対応のUHFアンテナを接続してください。 参照 アンテナケーブルの接続方法 『取扱説明書』
B-CASカードが正しくセットされていない	B-CASカードが正しくセットされていないと、地上デジタル放送を見ることができません。 次のマニュアルをご覧になり、B-CASカードを正しくセットしてください。 参照 B-CASカードのセット方法 『取扱説明書』
ケーブルテレビの伝送方式が対応していない	ケーブルテレビで地上デジタル放送をご利用になる場合、ケーブルテレビ会社によりデータの伝送方式が異なります。 このパソコンが対応している伝送方式は、同一周波数パススルー方式と周波数変換パススルー方式です。 伝送方式をご契約のケーブルテレビ会社にご確認ください。
チャンネル設定が地域と合っていない	お住まいの地域と一致した設定になっていることを確認してください。
インターネットに接続していない	テレビの視聴や録画には、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を行うために、パソコンをインターネットに接続してください。

地上デジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　　因	対　　処
UHFアンテナの向きが違う	デジタル放送の送信塔の方向が現在のアナログ放送と異なる場合は、アンテナの向きを変えてください。
アンテナケーブル、またはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい	アンテナケーブルまたはアンテナ変換ケーブルが、しっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式F型コネクタのものをお使いください。
分配器を使用していることで電波が弱くなっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。
分波器を使用していない	BS・110度CSデジタル放送とアンテナ線が混合している環境の場合は、分波器をお使いください。
他のソフトウェアが動作中	次の例のように、他のソフトウェアの動作状況に影響される場合があります。 ●セキュリティ対策ソフトがウイルススキャンを行っているとき ●他のソフトウェアの起動・終了時

音が聞こえない／変な音が聞こえる

ここでは、音声の状態に関するQ&Aをまとめています。

スピーカーから音が聞こえない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
音量が小さすぎる	リモコンの音量ボタン（→P.22）または操作パネル（→P.25）で音量を調節してください。
パソコン本体にヘッドホンが接続されている	パソコン本体にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。

スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
パソコンの近くで電波を発生する装置（携帯電話、PHSなど）を使用している	故障ではありません。携帯電話、PHSなどをパソコンから離してお使いになるか、使用をおやめください。

操作が効かない

ここでは、リモコン、スリープや休止状態に関するQ&Aをまとめています。

リモコンが効かない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換してください。 参照 **リモコンの乾電池の入れ方** 『取扱説明書』
リモコンの電池の使用推奨期限が過ぎている	電池には使用推奨期限が明記されています。使用推奨期限を確認してください。使用推奨期限が過ぎていると、正常に動作しないことがあります。
リモコンの電池が正しい向きに入っていない	電池の極性（＋−）を正しい向きにして入れてください。電池が正しい向きに入っていないと、リモコンは動作しません。 参照 **リモコンの乾電池の入れ方** 『取扱説明書』
ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 参照 **ACケーブル、またはACアダプタの接続方法** 『取扱説明書』
リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている	パソコンの向き、設置場所を変えてください。
リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない	リモコン受光部の使用可能範囲内で、リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。 参照 **リモコン受光部の使用可能範囲** 『取扱説明書』
リモコンからの命令をパソコンが正しく受信していない	リモコンがリモコン受光部に正しく向いていなかったり、リモコンとパソコンの間に障害物などがあったりすると、リモコンは正しく動作しません。 参照 **リモコンをお使いになる場合の注意** 『取扱説明書』

原　因	対　処
リモコンマネージャーが起動していない	リモコンをお使いになる場合は、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。画面右下の通知領域にある（隠れているインジケーターを表示します）をクリックし、が表示されているかどうか、確認してください。表示されていない場合は、（スタート）→「すべてのプログラム」→「リモコンマネージャー」→「リモコンマネージャー」の順にクリックします。通知領域の隠れている部分に、が表示されたことを確認してください。 また、パソコンのセットアップ時に「必ず実行してください」を実行していないと、リモコンマネージャーが正常に動作しないことがあります。デスクトップに（必ず実行してください）が表示されている場合は、クリックして「必ず実行してください」の処理を終了してください。
リモコンマネージャーがインストールされていない	リカバリなどを行った後に、リモコンマネージャーがインストールされていないと、リモコンを使用できません。 参照 **ソフトウェアのインストール方法** Web『補足情報』

予約録画に失敗する

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
予約時刻にWindows Updateが行われた	テレビ番組の録画中に、Windows Updateが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。テレビ番組の録画時間とWindows Updateの自動更新の実行時刻が重ならないようにしてください。Windows Updateの自動更新の設定は、（スタート）→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックし、「設定の変更」をクリックして表示される画面で、確認、変更できます。
時刻設定が合っていない	「Windows Media Center」で予約録画するときは、パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。パソコンの時刻合わせについて、詳しくは、「パソコンの時刻合わせ」（P.39）をご覧ください。
パソコンの電源が入っていない	パソコンの電源が入っていないと、予約録画が開始されません。予約録画の設定後、パソコンを使用しないときは、スリープか休止状態にしてください。
スリープ・休止状態からの復帰ができなかった	「スリープ解除タイマーの許可」を「無効」にしていると、スリープ・休止状態から予約録画されません。（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「電源オプション」→「プラン設定の変更」→「スリープ」の順にクリックし、「スリープ解除タイマーの許可」の中の項目が「有効」になっているかどうか確認してください。
録画予約が重複している	録画予約が重なっている場合、開始時刻が早い方の録画が優先され、遅い方は重複する時間帯が録画されません。 詳しくは、マイクロソフト株式会社のWebページをご参照ください。 http://support.microsoft.com/kb/967652/ja/

メッセージが表示される

ここでは、メッセージが表示された場合の対処方法をまとめています。

デジタル放送で、メッセージが表示される

表示されるメッセージから、次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
受信できません B-CAS カードが挿入されていないか、故障しているか、またはこのチューナーでは使用できません。 カードが正しく挿入されているかどうか確認してください。	B-CASカードが正しくセットされていないと、地上デジタル放送を見ることができません。 次のマニュアルをご覧になり、B-CASカードを正しくセットしてください。 参照 **B-CASカードのセット方法** 『取扱説明書』
テレビ信号がありません このチャンネルのテレビ信号を検出できません。 チャンネルの放送が一時的に中断されている可能性があります。 それ以外の場合は、テレビアンテナを調整するか、接続し直す必要があります。	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 参照 **アンテナケーブルの接続方法** 『取扱説明書』
微弱なテレビ信号 テレビチューナーが、選択したチャンネルの信号を受信できません。このチャンネルを正しく受信するには、信号の調整が必要な可能性があります。このチャンネルを選択し直してみてください。問題が解決しない場合は、受信契約会社にお問い合わせください。	
コピー禁止 放送局によって、このコンテンツのコピーは禁じられています。 このコンテンツは録画されたコンピューターでのみ再生できます。	他のパソコンの録画コンテンツをこのパソコンで再生することはできません。また、C ドライブをリカバリするとリカバリ前に録画されたコンテンツはすべて再生できなくなり、このメッセージが表示されます。

原　因	対　処
画像または音声出力の競合 現在の要求に対応できるチューナーがありません。	このメッセージが出た場合は、一旦「Windows Media Center」を終了し、再度「Windows Media Center」を起動してください。
サービスを使用できません このチャンネルのテレビ信号を検出できません。 チャンネルの放送が一時的に中断されている可能性があります。しばらくしてからやり直してください。	電波の受信は正常にできていますが、放送が中断されている場合にこのメッセージが表示されます。番組が放送されている時間に再度「Windows Media Center」を起動してください。
Aero グラスが無効です 保護されたこのコンテンツを再生するには、Windows Aero グラスを有効にする必要があります。この機能を有効にする方法の詳細については、Windows のヘルプとサポートで "Windows Aero" を検索してください。	Windows Aeroを有効にする必要があります。デスクトップの何もないところを右クリックし、「個人設定」→「ウィンドウの色」の順にクリックして表示される「透明感を有効にする」にチェックが付いているかどうか確認してください。 また、Windows Aero が有効になっていても、他のソフトウェアによって、画面の表示が一時的に「Windows 7 ベーシック」に変更されているときに、「Windows Media Center」を起動すると、このメッセージが表示されます。その場合は、他のソフトウェアを終了してから、「Windows Media Center」を起動してください。

索引 INDEX

テレビ操作ガイド

B6FJ-3501-01-01
発 行 日　2010年1月
発行責任　富士通株式会社
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan

テレビ操作ガイド

FUJITSU

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。

B6FJ-3501-01